



- ★ 開催日時 令和7年6月29日 午前10時～12時
- ★ 開催場所 市役所 市長応接室
- ★ 参加グループ 松本県ヶ丘高校 2年生
- ★ 参加人数 6名

テーマ 「松本市を更に盛り上げるには？」



提案・意見

☆こんなことができれば、松本市はもっと盛り上がる！



①山崎監督「ゴジラ」を松本の推しにしてはどうか。	
提案内容	市長回答
・山崎貴監督の「ゴジラ-1.0」を見て、作品の完璧さに衝撃を受けた。 ・松本市出身の監督なのに、松本市にはゴジラを使ったものがないので、ゴジラを使ったオブジェを作ってはどうか。 ・例えば、松本駅の入口をゴジラの顔にして、そこを通過する。または、ゴジラの実寸大の高さのオブジェを松本市の真ん中に作り、登れるようにする。 ゴジラの顔の辺りを展望台にして、北アルプスの山々を高いところから眺めるようにできたら、松本市にとっても誇りのオブジェになり、観光客も集まるのではないか。	○「ゴジラ-1.0」は今までのゴジラとちょっと違った視点で、かつ山崎監督の得意分野のVFXを最大限駆使し、国内でも海外でも大ヒットし、アカデミー賞も受賞した。 ○山崎監督は地元の素晴らしい映画人である一方、ゴジラはこれまで何作も作られてきた。その舞台は必ずしも松本ではなく、ゴジラのご当地は松本かという、少し違うのかなと考える。 ○ゴジラは山崎監督が作り出したキャラクターではなく、権利関係にも課題がある。 ○今後、山崎監督がゴジラと関係性を持つ作品を作ることが続いたり、松本市にとって誇りになることが積み重なっていったその先に、この提案がリアリティをもって考える可能性があると思う。 ○皆さんが将来的に駅前にオブジェを作ろうというムーブメントを起こしてもらえれば、松本市にとっての新しい文化資源を作り出すことになるかもしれない。 これからも構想としてあたため、いずれ何らかの形で実現するという事も考えてほしい。

②里山を有効活用するために、マウンテンバイク・トレランができる場所を作ってはどうか。	
提案内容	市長回答
・普段マウンテンバイクによく乗るが、松本市内で行けるところが岡田にしかない。 ・マウンテンバイクのコースは白馬などにもあり、車を持っている大人は行けるが、若い世代は遠くに行けない中で、松本市は乗りやすいんじゃないかと思っている。 ・そこで松本市の里山にマウンテンバイクのコースを作ってはどうか。 ・1本コースがあると、松本市民だけでなくその周りに住んでいる人が松本に来るきっかけになったり、里山の有効活用にもなる。	○マウンテンバイクのコース整備の要望は何件か来ている、薄川河川敷や、里山に整備の可能性がないかという話をもらっている。 ○一方で、山歩きをしたり散歩をしたりする人からは、マウンテンバイクで走る人がいると危ないので、規制をしてほしいという要望もある。 ○マウンテンバイクは、マウンテンという言葉がつくくらいなので、松本がこれだけ山がちな街であるということを考えたときに、岳都松本の象徴的なものになる可能性もある。 ○関係課に声をかけ、可能性がある場所のピックアップなどを考えていきたいので、その時に仲間と参加してもらい、一緒に考えてほしい。

③街なかに図書館のある施設がほしい。	
提案内容	市長回答
・以前パルコの跡地に図書館のようなものができるという話があったと思う。 ・図書館によく行くが、今の図書館はちょっと遠い。パルコの辺りだとちょうど通学のルートで、あそこに出来たら良いなと思っていた。	○パルコとの話は白紙となったため、パルコの建物を使って皆さんがリクエストしてくれたものを展開することはできない。 ○井上の閉店や、一帯の建物の老朽化もあり、今後新陳代謝が進むと思われる。 ○どのようにまちづくりしていくかということを現在進行形で考えている中で、図書館のようなものも、パルコ周辺から駅前の中で可能性を探っている。 ○小さくてもいいので、こういうことを実現してほしいということを何らかの形で発信したり、周りの仲間と行動を起こしたり、我々が呼びかける集まりにも参加してほしい。

④街なかの緑化で気温上昇への対策を行ってはどうか。	
提案内容	市長回答
・松本駅から出ると、緑・植物が少ないと感じる。 ・少し前に全国で松本市が一番暑い日があったので、緑化で涼しくなれば良い。 ・落ち葉の片付けや花壇の手入れなどの人手不足の解消として、小学生・中学生・高校生・大学生を動員してはどうか。	○松本市には、アルプスや、美ヶ原高原など周辺に緑があるが、中心市街地に緑が少ない。 ○松本駅お城口にベンチを増やし、そこに緑陰を作ったが、もっと増やさないといけないと感じている。 ○街なかに緑を増やし、ヒートアイランドを少しでも和らげる取り組みは必要と考えている。 ○お城口からあがたの森までの歩道沿いに緑陰を増やすため、街中グリーンインフラと名付けて実施している。 ただし、県道であるため市がお金や権限の点で直接的に関与できないという課題や、ムクドリ・落ち葉対策の課題がある。 ○高齢化が進み自分たちだけでは人手が足りないという町会に、高校生が参加し活動しているところもある。高校生や大学生に参加してもらおうと、周りの大人も引っ張られて動くということもあるので、我々がコーディネートして動員していくのは大事だと感じた。

⑤歩行者と自転車が安全で快適な街になるように。	
提案内容	市長回答
・松本市にはお城、温泉、芸術館、中町通りなどの素敵な場所があるが、歩いていると、自転車が危険だと感じる。 ・自転車通行帯が整備されているが、歩道を走る自転車がいる。 ・整備するだけではなく、自転車通行帯があるということを伝える工夫があればいい。	○場所によっては、構造的に自転車通行帯を設けるだけの余裕がないところがあり、そこは歩道を走るようになっている。 ○今後自転車の法規が厳しくなり、取り締まりの対象になっていく。ルール順守を求める以上、道路の構造が自転車が走りやすい状況になっていないと、自転車に乗る人が快適ではなく、利用が増えていかないので、整備は進めていかねばと考える。 ○松本市の、中心市街地がコンパクトで色々なものが集まっていることは利点であり、歩いて移動できたり自転車で移動するのにちょうどいいと思う。 ○中町ももちろんだが、わき道に入るとショップやカフェが増えてきて、面白い街になりつつある。 歩くことや自転車で移動する方がいいよねと思ってもらえるよう、道路の整備や交通ルール・マナーの周知をしていかないといけないと感じた。

⑥えんぱーくのような施設がほしい。	
提案内容	市長回答
・パルコの活用は厳しいという話を聞いたが、市内にえんぱーくのような「市民交流センター」があったらいい。	○えんぱーくのようなものや図書館のようなものを作る場所として、市として一番可能性を感じていて、検討しているのは、駅前周辺。 ○えきしろ空間という言葉を使って、松本駅から松本城まで一帯を、街なかを歩いて快適に過ごせる空間、若い世代や家族連れ、観光客にとって居心地が良く楽しめる場所を作り上げていきたいと考えている。 えんぱーくのような施設についてもその空間の中で可能性を探り続けていきたい。

参加された皆さんからの感想

- ◎提案を実施する上での課題や、考えなければならないことなど、実際に政治を行っているからこそわかる貴重な話を聞け、大変有意義な時間を過ごせた。参加して良かった。
- ◎話題を広げたり深掘りながら真剣に答えてくれてうれしかった。話しやすい雰囲気で自分の考えをしっかりと伝えられた。
- ◎緑化について前向きな検討をしていると聞いて、胸をなでおろした。今後機会があれば、緑化について市の政策と深くかかわりたいと思った。
- ◎市長の話を聞く中で、現実的な課題など多くの学びがあり、自分自身の視野も広がった。
- ◎市長と直接話をする中で、真剣に考えてくれていることがよく分かった。マウンテンバイクトレイルについて話し合う際には、仲間にも声をかけて参加したい。
- ◎地域コミュニティの核となる場所の必要性について、市長と話す中で多くの気づきがあり、考えをより深められた。



松本県ヶ丘高校の皆さん、
ご参加いただき
ありがとうございました♪

